

大阪府北部地震を受けて

～あなたの所有する**ブロック塀**や**石塀**は安全ですか？～



ブロック塀の倒壊



石塀の倒壊

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震では、ブロック塀や石塀の倒壊により歩行者が死傷する事故が発生しました。

地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。

ブロック塀や石塀は、強い揺れで倒れる危険があります。

揺れを感じたら塀から離れましょう。

また、ブロック塀や石塀の倒壊は、人命を危険にさらすだけでなく、震災後の避難や救助・消火活動の障害となります。

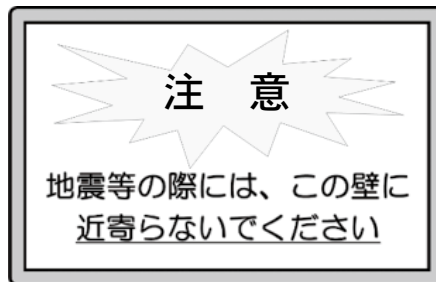
建築基準法では、ブロック塀や石塀に必要な最低限の安全基準を定めています。一見頑丈そうに見えても、基準どおりに造られていなかったり、老朽化が進んでいると、地震による倒壊の危険性があります。

ブロック塀・石塀の 安全点検・安全対策を！！

市有施設のブロック塀は？

現行の建築基準法に適合していないブロック塀が、市立小中学校12校を含む市有施設にあります。

今後、改修工事を行う予定ですが、それまでの間は、注意喚起のために右のような表示を掲示しております。ご注意ください。



■ 問合せ＝建築指導課 ☎(20)3104 危機管理課 ☎(20)3056
教育総務課 ☎(20)3106 財産活用課 ☎(20)3050

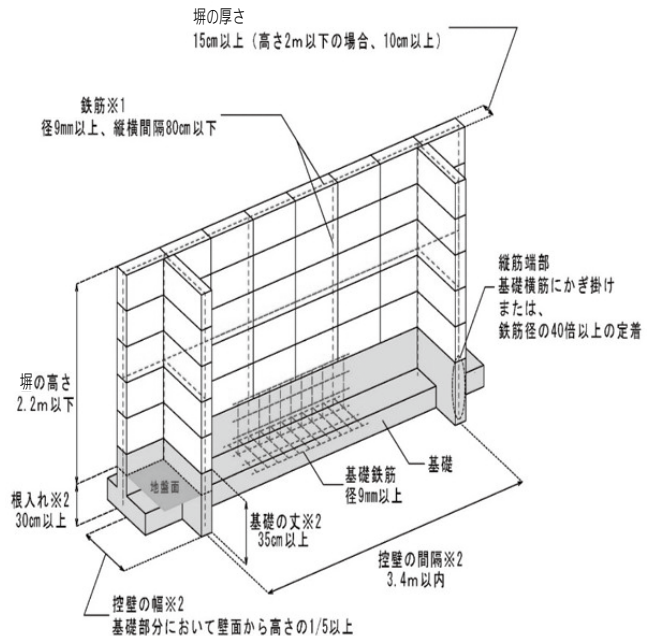
現行の建築基準法におけるブロック塀・石塀の基準は、以下のとおりです。

外観目視により1～5の項目をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談して改善しましょう。

ブロック塀チェック項目

- 1 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは15cm以上か。(塀の高さが2m以下の場合は10cm以上)
- 3 控え壁はあるか(塀の高さが1.2m超の場合)
 - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの5分の1以上突出した控え壁があるか。
- 4 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5 塀は健全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。
 <<専門家に相談しましょう>>
- 6 塀に鉄筋が入っているか
 - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

【ブロック塀】



※1 鉄筋について
 ・縦筋は、壁頂および基礎の横筋にかぎ掛ける。
 ・横筋は、縦筋にかぎ掛ける。
 ・壁頂には横筋を配置する。
 ・壁端部および隅角部には縦筋を配置する。

※2 基礎及び控え壁について
 ・塀の高さが1.2mを超える場合、適用となる。

石塀チェック項目

- 1 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは塀の高さの10分の1以上か。
- 3 控え壁はあるか
 - ・塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突き出した控え壁があるか。
- 4 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5 塀は健全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。
 <<専門家に相談しましょう>>
- 6 基礎の根入れ深さは20cm以上か

【石塀】

